

平成27年度
危機管理室予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・・3

1 平成27年度危機管理室予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度危機管理室予算要求総括表

平成27年度要求総額【一般会計】 248,063千円
 (平成26年度予算額 387,084千円)
 前年度比 ▲35.9%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 (A)	平成26年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
新雨量観測体制の強化	31,426	—	31,426
みんな de Bousai まちづくり推進事業	16,109	12,000	4,109
防災啓発事業の推進	7,892	3,287	4,605
DIG(住民参加型災害図上訓練)	733	1,090	▲357
北九州市総合防災訓練等	10,872	7,716	3,156
市街地表示式避難地案内板更新事業	9,244	8,300	944
新総合防災情報システムの更新	9,217	—	9,217
被災地復興支援事業	47,062	57,000	▲9,938

(2) 平成 27 年度危機管理室経営方針

危機管理室では、「元気発進！北九州」プラン（北九州市基本計画）に掲げる「災害などに強いまちづくり」に向けて、東日本大震災の教訓と支援の経験等を踏まえた「地域防災計画の見直し」や、住民参加型の防災訓練を積極的に実施するなど、「想定を超える災害でも命を守れる防災体制」の強化を図り、総合的な防災体制の充実強化に取り組んでいます。

平成 27 年度は、全国各地における豪雨災害の教訓や、「土砂災害防止法」の改正を踏まえ、土砂災害への対応の強化につながる事業を進めます。

① 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の充実強化

課題：地域防災力の充実強化、防災意識の高揚（自助・共助の意識醸成）

方針：東日本大震災や九州北部豪雨、広島での土砂災害など最近の災害を教訓として、市民の生命を守ることを最優先に、「自分の命は自分で守る」という住民の「自助」意識の醸成と、地域住民が助け合う「共助」による防災対策を推進し、地域防災力の充実強化を図ります。

② 防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化

課題：防災関係機関等との連携、防災意識や避難行動の啓発

方針：実践的で多様な防災訓練を実施することで、関係機関との連携を強化するとともに、防災意識の高揚、避難行動の普及を図り、地域や市民一人ひとりの防災力を高めます。

③ 防災情報の充実強化

課題：災害時における迅速な情報共有

方針：災害時はもとより平常時より様々な防災情報について、市民を含めて広く情報の共有を図ります。

④ 被災地（東日本大震災等）への支援

課題：被災地ニーズへの対応、人的支援（職員派遣）の継続

方針：東日本大震災等の被災地では、復旧・復興に向け懸命な取り組みがなされています。来年度も、岩手県釜石市等に市職員を派遣するなど被災地のニーズに沿った支援活動を行います。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 想定を超える災害でも命を守れる防災対策の充実強化

Ⅱ－１・新規

- ・雨量観測体制の強化 31,426 千円
(事業概要)

土砂災害対策として、周辺に雨量計が少ない地域に雨量観測局を4箇所増設し、リアルタイムで降雨量を監視するための体制を強化する。

Ⅱ－１・継続

- ・みんな de Bousai まちづくり推進事業 16,109 千円
(事業概要)

災害から命を守るために、自ら命を守る「自助」と地域で助け合う「共助」など地域防災力の向上を図るため、モデル事業を実施するとともに、地域防災の新たな担い手の育成に取り組む。

Ⅱ－１・継続

- ・防災啓発事業の推進 7,892 千円
(事業概要)

防災フォーラムの開催や北九州大水害(28災)のDVDを作成する等、市民の防災意識の高揚を図る。

Ⅱ－１・継続

- ・DIG(住民参加型災害図上訓練) 733 千円
(事業概要)

地震や津波想定に加え、土砂災害警戒区域を対象とした、住民参加型災害図上訓練(DIG)を実施する。

(2) 防災訓練を通じた関係機関や地域との連携の強化

Ⅱ－１・継続

- ・北九州市総合防災訓練 7,095 千円
(事業概要)

市民の防災意識の高揚と災害時における関係機関の連携体制を確認するため、土砂災害を想定した地域参加型防災訓練を実施する。

Ⅱ－１・継続

- ・各区防災訓練 2,945 千円
(事業概要)

各区の地域特性に応じた防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の高揚と区における防災体制の充実を図る。

Ⅱ－１・継続

・避難所体験・運営訓練
832 千円
(事業概要)

地域住民等による避難所の運営、食事、宿泊といった実際の避難所生活に近い環境を体験する訓練を実施する。

Ⅱ－１・継続

・DIG（住民参加型災害図上訓練）（再掲）
733 千円

(3) 防災情報の充実強化

Ⅱ－１・新規

・雨量観測体制の強化（再掲） 31,426 千円

Ⅱ－１・継続

・市街地表示式避難地案内板更新事業
9,244 千円

(事業概要)

災害発生時に、市民及び来訪者の避難行動を円滑にするため、避難地案内板の内容を更新する。

Ⅱ－１・新規

・北九州市総合防災情報システムの更新
9,217 千円

(事業概要)

総合防災情報システムに、全庁 GIS を連動させるとともに、罹災証明書の発行機能を加えるなど、災害対応に係る機能を強化する。

(4) 被災地（東日本大震災等）への支援

Ⅱ－１・継続

・被災地復興支援事業
47,062 千円
(事業概要)

東日本大震災の被災地である釜石市への市職員派遣等、被災地のニーズに沿った支援活動を行う。